

# ホタル学校だより

## 初開催！河合ホタルサミット



昨年 8 月の生徒市議会で河合中学校が提案した事業が実現し、平成 28 年 1 月 25 日（月）に同校（茅原沢町）で「河合ホタルサミット」が開催されました。河合学区でホタル保護育成活動が始まって来年度で 50 周年を迎えるにあたり、市内でホタル保護活動や里山保全、愛鳥活動を行う小学校や各ホタル保存会、行政や地元関係者が一堂に会し、これまでの取り組みを発表し合い、これからの河川環境や身近な生き物の保全について 1 時間にわたって熱い議論が交わされました。

ホタルサミットには河合中学校、生平小学校、秦梨小学校、美合小学校の 4 校から代表が参加し、各校から特色のある活動として雑木林の整備や野鳥のすめる森づくり、ホタルの幼虫のエサとなるカワニナの育成、川の清掃、ホタル保護啓発看板の設置、ホタルの幼虫の放流など様々な取り組みが紹介され、試行錯誤しながら日々奮闘している様子が伝わってきました。

後半は生徒・児童同士が「活動の成果として身近な生き物に何か変化はありましたか」、「活動の内容や成果をどうやって情報発信をしていますか」など、学校や学年の垣根を超えて活発な意見交換が行われ、身近な自然環境を大切に守っていききたいという意識の高さを知りました。

最後にホタル学校名誉校長であり生田（しょうだ）蛍保存会会長の古田忠久氏が「このホタルサミットをこれからもぜひ続けてもらいたい。若い人が活動して人に伝えていくことが大切です。生き物に対する人間の思い上がりを反省し、できるだけ昔の自然環境に戻して子どもたちに引き継ぎたい。いつか人工飼育をやめてホタルが自然に増えて生きられる環境をみんなで作っていきましょう。」と話されました。これからもお互いに連携しながらホタルをはじめとする身近な自然環境を守っていききたいと思います。



河合中学校の生徒会が主導

### ホタル学校歳時記（No. 7）

## ホタルの成虫たちは何を食べて生きている？

6 月の月上旬。夜中に地上に出た成虫たちは、羽が硬くなり飛翔ができるまで草むらの幹に止まり休憩をする。しばらくして 1 匹、2 匹と水面の湿度の高い場所へ飛翔する。

ホタルの飛翔はトンボのように「水平の飛翔」ではない。体が重いので「垂直の飛翔」であり、風の抵抗を受けやすく、すぐに疲れるので、川岸の樹木の枝で休憩をする。



昼間、葉の陰で休むゲンジホタルの成虫

夜中を過ぎると植物の多くは葉の葉脈の先端から水分を出し球形の水滴ができる。この露（つゆ）の中には糖分が含まれていて、ホタルの成虫の食糧になっている。

成虫の食事はこの露だけであるため 7～10 日の短い命だが、長野県辰野町の勝野氏は砂糖を薄めた液を与え続けて 45 日という長生きをさせた記録がある。私も昭和 48 年にハチミツの液を与えて 30 日間生きさせたことがある。自然の植物の出す露に含まれる糖の濃度は 0.01% くらいで、人間の舌で判断できる濃度では長生きできない。（限りなく薄く）カブトムシ、クワガタ、カミキリムシなどはコナラ類の幹の傷から出る樹液に群がって食事をする。昭和 50 年、川岸のコナラの樹液に群がるゲンジボタルを確認したことがあるが、その後は確認していない。

薄めた砂糖液を樹木の葉にたらし、成虫を止まらせると数秒で飲み干すので丁寧に実験してみてほしい。（ホタル学校名誉校長 古田忠久）



# ホタルの里の山歩き“喜桜山”コースがまもなく完成！



里山ハイキングの会の皆さんと松本吉央さん（右）

愛称はルート調査していた際に見つかった山頂の大きなヤマザクラにちなんだものです。大人一人ではとても抱えることが出来ないほどのサクラの大木は見事なもので、鳥川の新たな見どころとなることが期待されます。ホタル学校では新しいルートの入った地図を配布していますのでぜひお立ち寄りください。また、平成28年3月27日（日）には新コース完成記念の山歩きイベント、そして4月にはお花見イベントも計画されています。ぜひ鳥川ホタルの里にお越しください。

鳥川の里山は地域住民やボランティアの手で山歩きコースが整備されており、音羽富士や水晶山といった低山トレッキングを気軽に楽しめるスポットとして訪れる方が増えています。

現在もバラエティに富んだコースが沢山ありますが、まもなく新しい喜桜山（きざくらやま）コースが完成します。長年鳥川の登山道整備に取り組んできた松本吉央（よしお）さん、岡崎年金者里山ハイキングの会のメンバー、そして地元の方々がタッグを組み、昨年の春から毎月のようにルートの調査検討と案内看板の制作が進められてきました。今年に入ってから看板の設置も開始し、3月にはいよいよ正式に開通の予定です。

「喜桜山」という



ホタルの里を見守るヤマザクラの大木

## 記録的な“暖冬”に植物たちも勘違い!?

鳥川の自然にも異変が起きています。記録的な暖冬の影響で11月にはホタル学校の校庭でなんと「ツクシ」が生えているのが見つかりました。さらに1月には学校裏の梅の花がもう開花してしまいました。植物たちもあまりの暖かさに「春が来た!？」と勘違いしてしまったようで異常気象による生態系への影響が懸念されます。



## 参加ファミリー募集！平成28年度ホタルマスターファミリー講座



ホタルとホタルを取り巻く自然環境について親子で楽しく学ぶ平成28年度「ホタルマスターファミリー講座」の参加者を募集します。4～9月の全6回、毎回家族で様々な自然体験を通して段階的にホタルの生態やホタルを取り巻く自然環境について学ぶことが出来ます。お問い合わせ、お申し込みはホタル学校（電話：0564-82-3027）まで！

- ◆ 期間：平成28年4～9月（毎月1回）
- ◆ 対象：小中学生親子10組（抽選）
- ◆ 会場：ホタル学校 ※参加無料です。
- ◆ 講師：自然・環境学習実践隊



[ホタル学校に関する情報はホームページ・ブログをご覧ください！]

★ホームページ…[http://www.morinoeki.jp/hotaru\\_gakkou/index.html](http://www.morinoeki.jp/hotaru_gakkou/index.html)

★水とみどりの森の駅ブログ…<http://sizentaikennomori.boon-log.com>